

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
越前市	大虫町	令和2年2月	平成27年12月

集落座談会: 令和2年2月4日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	45.5 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	45.5 ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	2.43 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	1.73 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.7 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0.0 ha
(備考)	

2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"> ・米価の下落傾向に伴う不安定な所得、資機材や燃料費の高騰 ・農業従事者の高齢化による農業離れ、担い手不足 ・耕作放棄地の増加とそれによる鳥獣害問題の発生 ・水路等、施設の老朽化

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

地区内で経営母体を構築する(集落営農組合等)
民間企業への委託を検討する(越前たけふファームの活用)

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向			備考
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲	
認農	認定農業者A	水稻、野菜	1.8 ha	水稻	1.8 ha		
			ha		ha		
			ha		ha		
			ha		ha		
			ha		ha		
			ha		ha		
			ha		ha		
			ha		ha		
			ha		ha		
			ha		ha		
計	1人		1.8 ha		1.8 ha		

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

<p>不耕作地については、所有者で話し合いながら農地を耕作できる状況にまで戻し、他の担い手に耕作を依頼していく。</p>
<p>担い手に任せただけでも、地主をはじめ地域全体が草刈りなどは協力することで、担い手が長く耕作できる環境をつくる。</p>
<p></p>